



本日の
プログラム

就任挨拶(1) 会長、幹事

(夜間例会) 退任挨拶 高橋 徹 会長 他

18:00 ~
(於)札幌パークホテル

高橋 徹 会長

ついに私の年度の最後の例会になりました。今年度も通年通りとはいかず、8月から9月にかけて5回の休会がありました。多くの制限がある中、犬嶋会長年度より引き継いだ記念すべき3000回例会を迎えられたことは、本当にうれしく思います。

親睦活動がベースの我々の活動にはなかなか厳しいコロナ禍ですが、みなさんのご尽力のおかげで、開催することができた事業があり、私も今年度カーリング事業に参加致しました。冬季オリンピックの熱気が残っていた私自身、実際に競技も体験しました。翌日から私の足は思い通りにならず、日頃の運動不足を痛感した日でした。何より「リモート」が普及している中、対面で親睦を深めるロータリー活動の大切さを改めて感じました。また、喜多 伸行 会員のご尽力により3本の桜を植樹することができたことも、ロータリー活動の大事な足跡となるでしょう。

獣医師会の予定と重なり、なかなか参加できずに本当に皆様にご迷惑をおかけしました。この1年間の会員の皆様のご協力に感謝し、クラブ運営に携わってくださった皆様へ心よりお礼を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

皆様、1年間ありがとうございました。

高山幹事、あなたは私の救世主です。

高山 和宏 幹事

昨年の7月1日、高橋会長年度最初の例会で、誕生日祝いの赤いスタッフジャンパーを着て、会員の皆様と記念写真を撮ったことを覚えていらっしゃいますか？ あれから一年、あっという間でした。

退任にあたり、会員の皆様に申し上げたいことは、ひとつの言葉に集約されます。それは「感謝」という言葉です。コロナ禍でいろんなことがあった一年ですが、幹事として辛いとか、苦しいと感じたことは一度もありませんでした。

この経験は私にとって、会員の皆様からいただいたプレゼントであり、かけがえのない一生の宝物です。クラブ運営を支える立場の私が、いろんな場面でたくさんの方から支えていただき、本当に私は幸せ者です。ありがとうございました。

最後に、高橋会長、おつかれさまでした。



酒井 純 副会長

高橋会長の掲げる「先輩会員の想いをつなぎ、はばたこう！」「親睦を通してロータリーを楽しもう」に従い、各委員会や会員相互の親睦を深められるようにと思っておりましたが、前年度に続き新型コロナの影響もあり様々な制約の中でのクラブ奉仕活動となりました。クラブ奉仕委員会としては、なんとか2021年7月にFSMを開催し、その1回だけという結果になり、残念という反面、高橋会長年度のスタート時期にFSMを開催し、クラブ奉仕に所属する各委員会の委員長のみなさんの抱負などを共有できてよかったですと考えています。また、コロナ禍の中にもありながらも例会を開催し、例会のYouTube配信や会報での情報共有を図れたのではと思っております。会員の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

清水 哲 副会長

職業奉仕委員長として&40年の夢

- ①会期の前半にはコロナ禍の中での綱渡りではあったが、委員会の事業として佐々木 和宏 会員の北海料理 古艦帆来で移動例会を開催し、張 相律 会員の開発した新食材「豆葉」を使用した料理の試食しながらの楽しい会食を久しぶりに行いました。
 - ②職業奉仕月間には、玉井地区職業奉仕委員長に卓話で職業奉仕について分かりやすく教えていただきました。
 - ③プログラム委員会の協力で会員自身の卓話の機会を増やして実践例を知るきっかけとなりました。
- 個人的なことですが、私は大学院の博士課程を終了し、大学教授になるのが夢でした。卒業当時あたりから公務員の削減、オーバードクター問題や、自分自身の力不足もあり、大学の教員にはならず現在に至っていました。1月に思いがけず、札幌大学の小山 茂 会員に声をかけていただき、40年越しの夢がかない札幌大学の教壇に立つことができました。小山会員ありがとうございました。本当にロータリーって楽しいなと思っております。

